2022 年 01 月 31 日

東急不動産株式会社

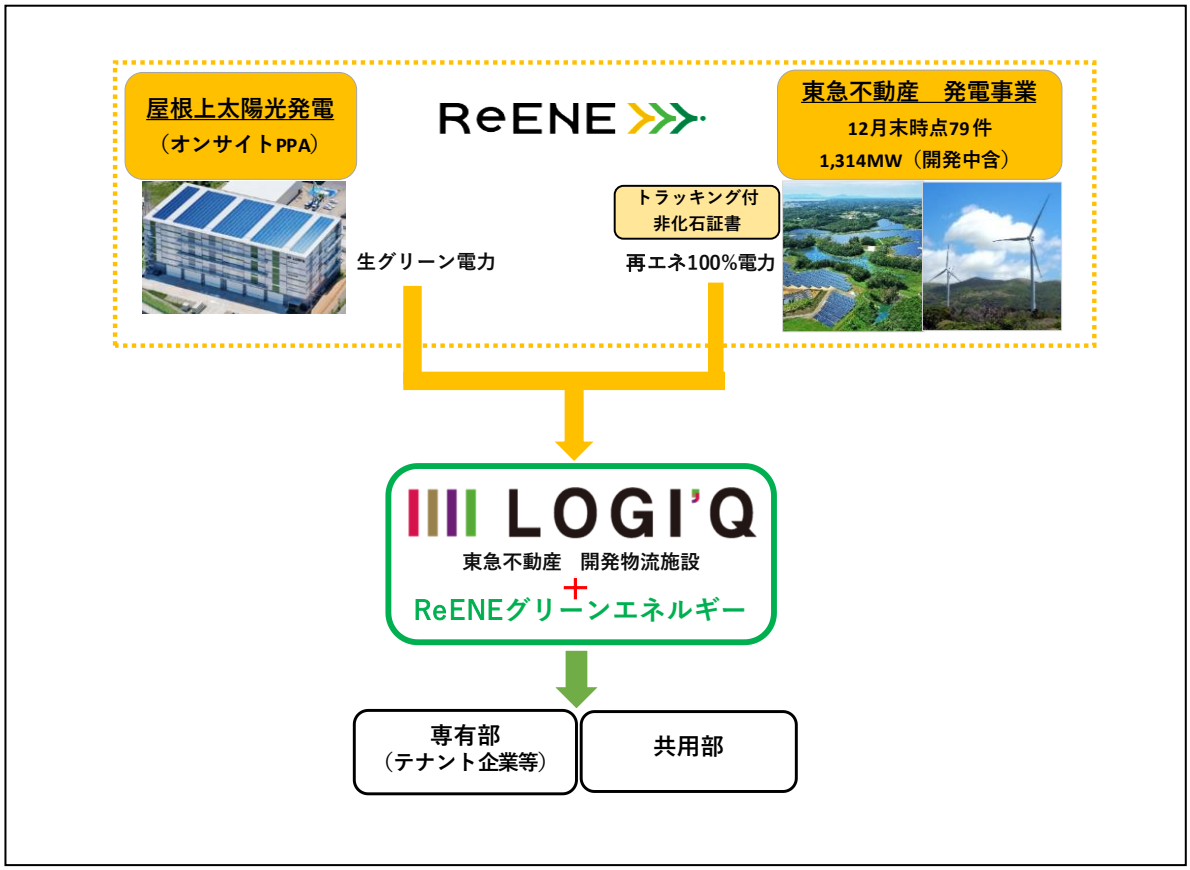
～物流施設に再エネ１００％電力「ReENE グリーンエネルギー」提供～

「LOGI'Q」入居テナント向けに環境負荷軽減サービスを開始

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下「当社」）はこの度、当社が開発する物流施設「LOGI'Q（ロジック）」に入居するテナント企業、およびその荷主企業等向けに、再エネ 100％電力である「ReENE グリーンエネルギー」を活用した環境負荷軽減サービスの提供を始めることにいたしましたのでお知らせいたします。LOGI'Q シリーズでは今後、物流施設屋上にオンサイト PPA 契約という契約方式を通じて太陽光発電設備を設置し、そこで発電した生グリーン電力を当該施設内で活用するほか、当社が全国で展開する再生可能エネルギーの発電所で発電した再生可能エネルギー100％電力を共用部・専有部へ供給いたします。こうした環境を活用し、テナント・荷主企業向けに再エネ 100％電力価値を提供できるサービスなどの取組を進めてまいります。

当社は環境先進企業として、事業活動に必要な電力を再エネ 100％電力とする国際的なイニシアチブの「ＲＥ100」の達成目標年度を 2025 年と当初目標（2050 年）より 25 年前倒す目標を掲げており、全てのオフィス・商業施設・ホテルおよびリゾート施設※での再エネ切り替えを進めております。今回の新サービスと合わせ、物流施設の環境負荷軽減を進めていきます。

※他社との共同保有等の例外を除く



■LOGI'Q 施設が提供する３つの具体的取組について

１．当社が展開する ReENE（リエネ）発電所由来のトラッキング付非化石証書※の活用

電力自由化により参入障壁の下がった再生可能エネルギー事業ですが、当社の再エネ事業「ReENE（リエネ)」発電所で発電された電力をトラッキングすることで、安心安全の「産地」を明確にした非化石価値を提供いたします。

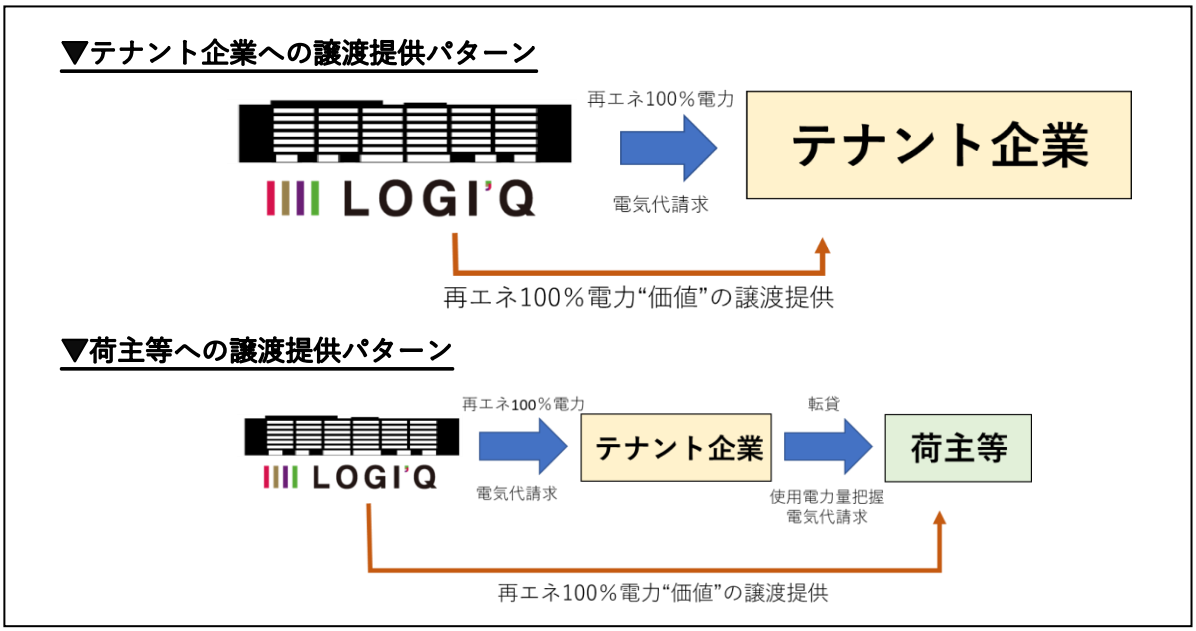
※非化石証書に発電所の属性情報が紐づけされ、再生可能エネルギーが由来する発電所の追跡（トラッキング）が可能となる証書。「RE100」に利用が可能だが、物件毎の個別事情により採用できない場合もある。

２．再エネ 100%電力“価値”をテナント等へ譲渡提供

入居テナント企業に対して、希望により再エネ 100%電力“価値”をテナント企業に譲渡提供※いたします。テナント企業は、RE100 達成に向け、当社物件に入居している拠点の電力を再エネ 100%電力として申請可能となります。

また、希望するテナント企業に対しては、当社オリジナル証明書を提供サービスとして発行予定とし、さらに、テナント企業が一部区画を荷主等へ転貸している場合においては、その転貸先である荷主等に対しても、再エネ 100%電力“価値”の譲渡提供を可能といたします。

※テナント企業と荷主等での重複提供は不可。荷主等における一部区画の転貸利用と使用電力量および電気代請求の実態が確認出来るケースに限る。



３．再エネ 100%電力を活用した共用部採用

物流施設内の休憩室やラウンジ等の共用部については再エネ 100%電力を使用するほか、以下を採用いたします。

① 夜間照明利用や地域貢献を目的とした災害時 BCP 対応として、太陽光発電の電力を一部充電する蓄電池等を設置。

② 今後、輸配送面で普及が期待される電気自動車対応として、電気自動車用急速充電設備を敷地内に設置。

■物流施設ブランド「ＬＯＧＩ’Q（ロジック）」のブランドコンセプト

「ＬＯＧＩ’Q」のブランドコンセプトは、“Ｄｅｌｉｖｅｒ　ｆｕｔｕｒｅ　ａｎｄ　ｓｍｉｌｅｓ．”多くの物や人が行き交い、ゆたかな社会を支えてくれている物流施設を今まで以上に社会に溶け込むものにしていきたい。そんな想いから生まれた物流施設が、「ロジック」です。

関わる全ての人にやさしい施設であるため、当社が培ってきた総合デベロッパーのノウハウを活かせるよう開発を進めると共に、皆様に愛される物流施設として運営して参ります。

LOGI'Q ホームページ　https://tokyu-logiq.com/

■東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」について

当社は、「ReENE（リエネ）」という事業ブランドで、再生可能エネルギー事業を展開しています。「Re-Creating the Value（未来に、新しい価値を）」と「Edit Next Energy（次の時代を作るエネルギーを）」という 2 つの志を組み合わせ、2018 年に誕生しました。

これまで当社は、総合不動産デベロッパーとして都市再開発、宅地やリゾートなど大規模な街づくりをはじめ、多岐にわたる開発事業を行ってきました。地域・社会・環境にかかわる様々な課題とも向き合い解決策を模索する中で培われてきた経験はリエネの中でも活かされています。

当社は、2016 年に専任部門を設立して本格的な取り組みを開始しました。「脱炭素化社会の実現」「地域との共生と相互発展」「日本のエネルギー自給率の向上」の 3 つの社会課題の解決を掲げ、これまでに 79 件（定格容量 1,314MW）の事業に携わってきました。2021 年 12 月末現在で全国 58 か所の太陽光発電所、3 か所の風力発電所を稼働し、バイオマス発電所を含む 18 か所の発電所の開発を進めています。

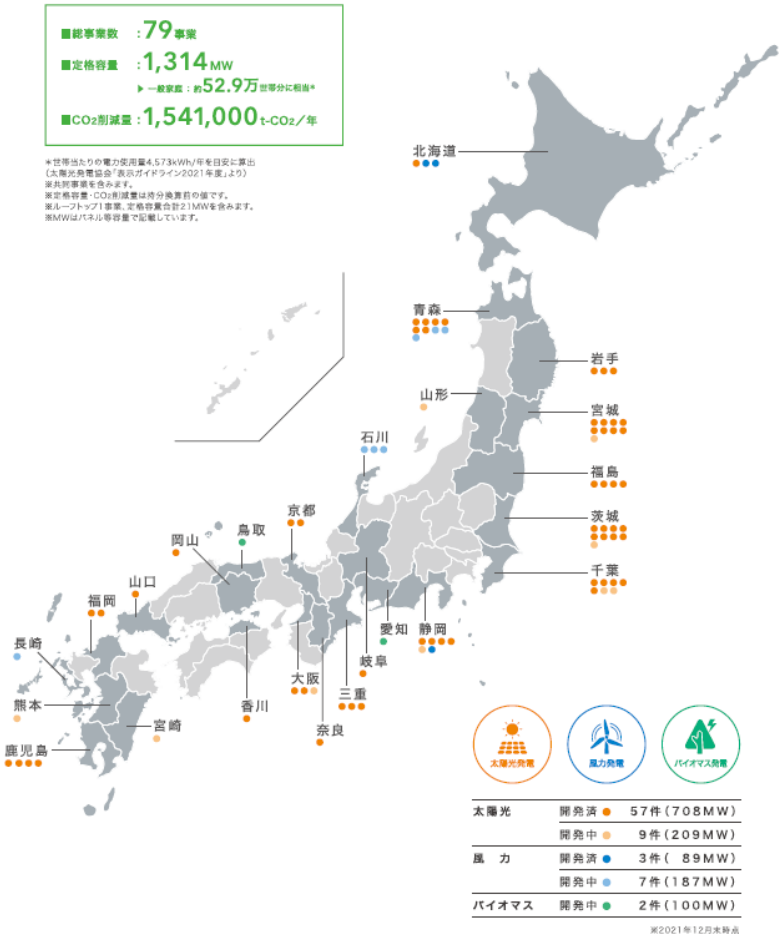
今後も、再生可能エネルギーの成長とともに、再生可能エネルギーをベースとした地域社会へのソリューション提供を図ってまいります。

リエネ銭函風力発電所
（北海道小樽市）

リエネ長南太陽光発電所
（千葉県長南町）

ReENE ホームページ　https://tokyu-reene.com/

■東急不動産が全国に展開する再生可能エネルギーの発電所



2021 年 12 月末現在

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマと SDGs の取組

東急不動産ホールディングスグループは、2021 年 5 月 11 日に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した 6 つのテーマに取り組み、SDGs の達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる　**サステナブルな環境をつくる**

貢献する SDGs

東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について
https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/

＜物流施設に関するお客様からのお問い合わせ先＞
東急不動産株式会社 戦略事業ユニット インフラ・インダストリー事業本部
ロジスティクス事業部　　中嶋　電話：03-6455-2604